



TSURU CITY

春号

つる 都留市 議会だより

2023 No.207

令和5年5月1日発行

「集う、学ぶ、深める」

ツル ヒューマンティーズ センター
～都留文科大学新棟 Tsuru Humanities Center (THMC) オープン～



定例会で決まったこと他…2～3
 市長所信表明 …………… 4
 代表質問・一般質問目次…5
 代表質問・一般質問…6～10
 各委員会の審査内容と結果…11～13

定例会議案議決結果 他
 ……………14～15
 議会活動報告 他 ……16～17
 未来を紡ぐ～若者×議会～他…18

令和5年3月定例会で決まった主なこと

条例改正（8件）

議第1号 都留市子ども未来創造基金条例制定の件

○子どもが安全で健やかに育つ子育て環境と知・徳・体の調和のとれた教育の充実を図る事業に必要な資金を積み立てます。

議第2号 都留市国民健康保険条例中改正の件

○法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金を変更します。

〔改正前〕40万8千円 ↓〔改正後〕48万8千円

議第5号 都留市企業立地支援条例中改正の件

○適用基準の緩和や支援金の拡充、便宜供与も拡充し、企業立地の促進及び雇用機会の拡大を図ります。

議第6号 都留市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例中

改正の件

○消防団員の処遇改善のため、年額報酬を増額します。

団長から部長まで 1万円増額

班長、団員

機能別団員 9,500円増額

議第28号 都留市介護保険条例中改正の件

○新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免措置を継続します。



ほか3件

当初予算（14件）

※詳細は12ページから13ページをご覧ください。

議第12号 令和5年度都留市一般会計予算

ほか13件

補正予算（4件）

議第26号 令和4年度都留市一般会計補正予算（第9号）

■10億5千297千700円を追加

《主な歳出の内容》

●民生費

市内保育所等の送迎用バスへの安全装置導入費用補助金など

480万円

●農林水産業費

県が実施する土砂崩壊防止施設を整備するための負担金（大幡地区大野水路）など

577万円

●土木費

道路の長寿命化を図る費用（天神通り線舗装工事）など

5千165万円

●教育費

東桂小と禾生第一小の校舎トイレ改修工事に要する費用、公立大学法人都留文科大学運営基金への積立金など

5億2千377万2千円

●諸支出金

「子ども未来創造基金」への積立金など

4億7千255万5千円

議第34号 令和5年度都留市一般会計補正予算(第1号)

■1億1千971万2千円を追加

《主な歳出の内容》

●衛生費

1億1千971万2千円
5月から始まる新型コロナウイルスワクチン接種に要する費用

ほか2件

人事案件(6件)

■監査委員、各財産区管理会委員の選任、及び人権擁護委員の推薦について同意

議第29号 監査委員の選任について同意を求める件

○監査委員 つる 山本 國太郎

議第30号 濁り沢外18恩賜林保護財産区管理会委員の選任について同意を求める件

○大野 曾根利憲、田原 松嶋和造、小野 渡邊幸市、
小野 重森邦夫、大野 奥脇敏久、上谷 志村耕一、
大野 程原恵多

議第31号 板ヶ沢外7恩賜林保護財産区管理会委員の選任について同意を求める件

○上谷 安富和男、上谷 臼井忠雄、大野 荻窪輝明、
大野 荻窪一則、大野 小俣 強、大野 大津智、
大野 程原庸介

議第32号 水頭外3恩賜林保護財産区管理会委員の選任について同意を求める件

○戸沢 小林信二、四日市場 小林伸一、戸沢 小林清哲、
下谷 小林 修、戸沢 奥秋直人、玉川 小林雅美、
四日市場 勝保正弘

議第33号 盛里財産区管理会委員の選任について同意を求める件

○朝日曾雌 日向功、朝日馬場 天野政雄、朝日曾雌 根本貞雄、
朝日曾雌 佐藤孝治、盛里、城之内義一、朝日馬場 小俣敏彦、
朝日馬場 小俣平和

諮問第1号 人権擁護委員の推薦について意見を求める件

○人権擁護委員 平栗 奥秋 昭蔵



その他(4件)

議第8号 公立大学法人都留文科大学が徴収する料金の上限の定めの変更の認可に関する件

○令和6年度の学部改編にあわせ、授業料

の上限を変更します。



議第9号 都留市都市計画マスタープラン

改定の件

○土地の利用の仕方、道路・公園・下水道などの都市施設の整備、美しいまちなみの形成、防災などについて、市の将来像を描き、その実現に向けたまちづくりの方針を定めています。

【計画期間】

令和5年～令和14年

議第11号 市道の路線の変更の件

○都留市鹿留 古渡団地入口線
支線1号

ほか1件



議員提出議案(1件)

議員提出議案第1号

都留市議会の個人情報保護に関する条例制定の件

3月定例会
会期日程

◆3月2日 本会議

(開会)

◎会議録署名議員の指名

◎会期の決定

◎提出議案の市長説明

並びに所信表明

◎議案審議

◎議案の委員会付託

◆3月13日 本会議

◎代表質問

◆3月14日 本会議

◎一般質問

◆3月15日

総務産業建設常任委員会

社会厚生常任委員会

◆3月16日

予算特別委員会

◆3月17日

予算特別委員会

◆3月20日

予算特別委員会

◆3月23日 本会議

(閉会)

◎委員長報告

◎議案審議

市長の所信表明



「第6次都留市長期総合計画」の総仕上げとなる後期基本計画がスタートします。

○第6次都留市長期総合計画 後期基本計画の策定

「後期基本計画」が4月からスタートします。

本計画では、企業誘致などを柱とし、地域経済活性化とまちの賑わいを創出する「産業支援による地域活性化」、次世代を担う優秀な人材を育成する「教育首都つる」の実現、子どもたちを生育する環境整備とその実現を目指す「子育ての喜びが実感できるまちづくり」、誰もが生涯にわたりこの地で健康に、かつ快適に暮らせるまちを目指す「安心して暮らせる安全のまちづくり」の4つをリーディング・プロジェクトに据えています。

○都市計画マスタープランの改定

市の都市計画の最も基本となる計画です。

基本理念を「住みよい市街地と自然が響き合い、文化がつなぐ人にやさしいまち」とし、生活・産業・防災防犯・環境・文化・福祉の6つの視点で「目指すべき都市像」を定めています。

○企業誘致

「都留市企業立地支援条例」の改正や民間企業と連携した計画的な面的整備をあわせて行い、産業の創出や就業機会の実現を目指すとともに、本市への企業立地を加速化していきます。

○田原交流センター「NICOT(ニコット)」

愛称を「NICOT」とし、4月にお披露目となります。

○子育て支援施策

NICOTは、カフェやコワーキングスペース、子育て支援センターなどが入る多機能施設です。

令和5年度から「学校給食費の無償化」を始めます。

また、「NICOT」内に設置する地域子育て支援拠点は、4月のオープンに向け打合せを重ねています。

○都留文科大学の新棟整備

2年にわたる改修工事が行われました。この施設が、都留文科大学の新たな学びの場として、また市民と学生の交流の場や人材育成の場となることを期待しています。

○観光振興について

「つる観光戦略」を改定予定です。市の歴史的文化や産業などを生かした体験型アクティビティを通じて、「地域住民」と「観光客」が「わくわくするような居場所のあるまち」を目指します。

○中山間地域総合整備事業

「都留西部地区」は、現在計画どおりに事業が進んでおり、十日市場・夏狩地区では3月に地権者説明会を開催しました。禾生・盛里及び三吉・開地地区の「都留東部地区」も、令和7年度の事業開始に向け取り組みます。

○認知症高齢者施策「チームオレンジ」の取り組み

「いーばしよ」を核とした「チームオレンジ」の取り組みを四日市場地域においてスタートしました。「孤立しないための関係づくり」や「専門職へのつなぐ体制づくり」を構築し、そのノウハウの蓄積を他地域にも波及していきたいよう、支援していきます。

市政を問う！

議会だよりでは、質問と答弁の要旨をお伝えします。
全文については会議録をご覧ください。会議録は市ホームページ、市立図書館及び都留文科大図書館、各地域コミュニティセンターで閲覧できます。

代表質問

1 ビジョン21 国田 正己 議員 6ページ

- (1) 厚原牛石地区農振農用地をはじめとする企業誘致施策のその後の進捗状況は
- (2) 都留市消防団員の条例定数の削減について
- (3) 中山間地域総合整備事業について
- (4) 県道大幡初狩線の拡幅と峠にトンネルの建設について
- (5) 中央自動車道側道の拡幅整備の促進の状況は ほか

2 つる清流会 日向 美徳 議員 7ページ

- (1) 安心して安全な子育て環境の整備について
- (2) 支え合い助け合う地域社会の構築について
- (3) 旭小学校閉校に伴う校舎、跡地の利活用について ほか

3 新政つる 志村 武彦 議員 8ページ

- (1) 公共交通の現状と今後について
- (2) 地域コミュニティセンターについて ほか

一般質問

1 山本 美正 議員 9ページ

- (1) 学校給食費の無償化について

2 小林 健太 議員 9ページ

- (1) 子育て支援施策について
- (2) 学校の統廃合について
- (3) 観光戦略について
- 【関連質問】 学校給食費の無償化について

3 小俣 武 議員 10ページ

- (1) 市立病院について
- (2) 地域医療と保健師の役割と位置づけについて ほか



ビジョン21 国田 正己 議員

厚原牛石地区農振農用地をはじめとする 企業誘致施策のその後の進捗状況は

答 地域経済の循環促進と持続化のため、地域の実情に合わせた条件緩和策を十分検討しながら、企業誘致を進めるとともに、新しい企業立地支援体制を構築することとしている。

厚原牛石地区農振農用地は、令和5年度より開発スケジュールの策定、不動産鑑定評価、用地交渉等を進める予定であり、県の「やまなし未来ものづくり推進計画」の重点促進区域の指定を経る中で、令和7年度中までに用地取得及びインフラ整備等を完了することを目指している。

今後は、中長期的な企業立地支援、並びに積極的な企業誘致等により、市内での雇用機会を確保するとともに、既存の生産拠点の持続化と新規生産拠点の開発を図り、産業振興を推進していきたい。

都留市消防団員の条例 定数の削減について

答 消防団を将来にわたり維持していくため、令和5年度から条例定数の削減や分団各部の統合を視野に入れ、必要とする消防力を維持しながら消防団員の負担軽減を図ることを目的とした「都留市消防団組織再編基本計画」を策定する予定。

中山間地域総合整備 事業について

答 県事業である「大幡地域ほ場整備事業」は、隣接する交差点改良に伴い道路線形が確定されず、地権者との合意形成に遅れが生じている。

県道の交差点改良について県に確認したところ、設計業務委託業者が決定されるためであり、道路線形が確定後、整備範囲を決定し、令和5年度に換地計画策定、令和6年度以降に実施設計、工事着手の予定とのことである。



県道大幡初狩線の拡幅 と峠にトンネルの建設 について

答 幅員狭小箇所の解消を優先的に整備することとし、最も道路幅の狭い箇所の道路詳細設計及び用地測量を実施したところ、用地取得が困難であったため、道路線形の見直しを検討

していると伺っている。

大月市との境の峠部の改良は、トンネルか、山を削るのかの施工方法などについて、現在、検討していると伺っているが、県道大幡初狩線は、地域の経済活動や観光の振興、災害時の広域避難路として重要な路線であるため、早期事業化に向け、県に対し、より一層積極的な働きかけを行っていく。

中央自動車道側道の拡幅 整備の促進状況は

答 国や県へ継続的に要望等をしてきたところ、ごみの搬入道路及び広域避難路として、中央自動車道側道整備の重要性を認識していただき、知事より非常に前向きな回答があったことから、整備に向けて大きく前進したと認識している。

本道路の整備は、エリア全体で方向性を導き出さなければならぬ大変難しい課題ではあるが、事業化を目指し、国、県及び隣接市町とともに勉強会を行っている。

今後は、勉強会を継続しながら、概略ルートや整備方針を検討し、新ごみ処理施設稼働時までの道路整備を見据え、早期事業化に向け取り組む。

安心で安全な子育て環境の整備を問う



つる清流会 日向 美徳 議員

問 〇歳児の見守り訪問事業の展開について。

答 相談支援に従事する専門職の増員をはじめ、既存事業との一体的活用による相乗効果の創出が重要であるため、子育て相談窓口における情報発信に重点を置き、一層の周知に努めていく。

問 子ども食堂の整備拡充について。

答 子ども食堂は、市への届出が必要ではないため、把握が難しいことが課題ではあるが、実施を検討する団体を把握した場合には、適切な相談対応及び支援に努める。

〔その他の質問〕

「奨学金の代理返還への支援」について

支え合い助け合う地域 社会の構築について

問 地域公共交通と日常の買い物などへの支援の推進について。

答 既存の公共交通サービスではカバーが難しい地域で、どのような交通手段を確保していくかが重要な課題となるため、さまざまな交通サービスやAIなどの新しい技術の活用を踏まえ、より良い公共交通サービスの提供に努める。

問 心のサポーター養成制度の充実にについて。

答 相談場所があること、またどこに相談したらよいのかを知ってもらうための取り組みとして、「メッセージカード」を作成した。今後は、公共施設や市内のスーパー・コンビニなどに設置し、さらなる相談窓口の周知活動に努める。

また、メンタルヘルスの不調を抱える人を地域や職場で支える「(仮称)心のサポーター」の養成に関しても、セーフコミュニティと連携し、ゲートキーパー養成講座として開催している。



問 ヤングケアラー等への支援の推進について。

答 県では、「ヤングケアラー支援ガイドライン」を策定した。市では、ヤングケアラーをはじめ、子どもや子育てに関する相談窓口として「子育てほっとステーション」を設置し、相談しやすい体制の整備に努めるとともに、ヤングケアラー・コーディネーター養成研修に職員2名が参加し、相談技術の向上等を図っている。

旭小学校閉校に伴う 校舎跡地の利活用について

問 旭小学校閉校に伴う校舎跡地の利活用について。

答 跡地施設の利活用の円滑な推進を図るため「学校跡地利活用基本方針」を現在策定している。

令和5年度からは、この方針に基づき、行政需要、市民ニーズ、地域への配慮、民間活用などの視点から検討し、閉校後できるだけ早期に跡地施設の利活用策を決定していく。

問 新たな活用が開始されるまでの間の校舎の管理・利用について。

答 当面は学校施設と同様の管理を行い、教室や屋内運動場、グラウンドは貸し出しを行う。

なお、災害時などの緊急時には引き続き、指定避難所となるため、電気・水道等は常時使用できるように維持していく。



公共交通の現状と今後を問う



新政つる 志村 武彦議員

問 現在、市内では、鉄道、市内循環バス、路線バス、予約型乗合タクシー（デマンドタクシー）といった公共交通がある。路線バスは10路線、予約型乗合タクシーは2路線運行している。

答 予約型乗合タクシーは、現在バスの運行がない東桂地域、盛里地域においてバスの代替交通手段となっており、事前予約をして停留所で乗り降りを行うという特徴がある。

問 免許証返納者の公共交通の利用状況は。

答 県によると、本市の自主返納者は年間平均100名程度となっている。市では、自主返納した満65歳以上の方を対象に、約1万円相当となるバス回数券、または予約型乗合タクシー回数券を配布する事業を行っており、令和3年度は、返納者の約8割が本制度を活用されている。



問 公共交通が無い地域への今後の対応は。

答 今後の新しい交通サービスの例として、「自家用有償旅客運送」と「互助による運送」があげられるが、地域の細やかな地点から少人数を輸送

することが可能となるサービスと、既存の公共交通を組み合わせ、カバーできるエリアを広げていくことができる。

さまざまなサービスやAIなどの新しい技術の活用を踏まえ、高齢者対策等も念頭に置きながら、より良い公共交通サービスの提供に努める。

地域コミュニティセンターについて

問 各地域コミュニティセンターの利用状況は。

答 証明書の発行や市税等の納付は減少傾向にあるものの、貸館は、コロナ禍で低調ではあるが、ある程度の利用は継続している。

問 郵便局での利用状況は。

答 東桂郵便局での利用状況は、2月末までで戸籍関係が70件、住民票の写しが192件、印鑑登録証明書が231件である。

問 各種証明書の発行時の情報管理について。

答 事務取扱の郵便局職員は、法により公務に従事する職員とみなされ、市職員同様に秘密保持の義務がある。

問 今後の地域コミュニティセンターの方向性について。

答 東桂地域コミュニティセンターは4月3日から新施設となるが、支所業務は、引き続き東桂郵便局に委託し、コミュニティセンターは、地域づくりの業務と施設の貸館業務とともに、併設される観光案内所の管理等に当たる。

また、宝及び盛里地域コミュニティセンターは、支所業務を令和5年10月を目前に、宝、朝日の両郵便局に委託する予定で協議を進め、禾生地域コミュニティセンターについては、令和6年度以降の委託を予定している。

今後の地域コミュニティセンターの活用は、「地域協働のまちづくり」を核として「都留市セーフコミュニティ」などが地域住民の主導により精力的に取り組みられているため、これらがさらに活性化できる拠点としていくことを予定している。



子育て支援施策を問う



小林 健太 議員

学校の統廃合について

問 子育て支援拠点、伴走型支援について伺う。

答 田原交流センターは多機能施設として整備しており、また、エリアには湧水で遊べる施設や大型遊具を備えた公園を計画しているため、より多くの子育て世代が集まり賑わう事を期待している。

既存の政策を拡充し、出産前から産後までの伴走型支援を実施していく。

学校給食費の無償化を問う



山本 美正 議員

問 無償化に至った経緯は。

答 これまでも子育て世帯にとって魅力あふれる都市を目指し施策を実施してきたが、より一層の充実を図るため、学校給食費の無償化を行うこととした。

問 恒久的に行うのか。

答 可能な限り恒久的に行いたい。

問 継続するための財源の確保策は。

答 「子ども未来創造基金」で一定額を確保するとともに、補助金制度などの積極的な活用やふるさと応援寄附金などで確保していく。

問 民間委託後、献立は誰が作成するのか。

答 これまでどおり、市が設置する「献立作成委員会」において栄養教諭等が中心となり、食育の視点も取り入れながら作成する。

問 食材調達は誰が行うのか。

答 市が設置する「物資購入委員会」で栄養教諭等が、安全性を十分に検討し、市が一括購入する。

問 味や質の低下を招かないか。

答 「調理業務発注書」に基づき委託事業者が「作業工程表」等の提出を行い、それらを栄養教諭等が確認

する。

給食は学校長や栄養教諭等が確認や検査するため、味や質が落ちる心配はない。

問 アレルギー除去食はどうなるのか。

答 令和5年度からは、アレルギー除去食を再開する。

アレルギー専任者を配置し、栄養教諭等、調理員、配送員、学校と連携し「都留

市学校給食アレルギー対応ガイドライン」に則った対応を基本に、委託事業者と協力して取り組む。



問 旭小学校の閉校と今後予想される統廃合について伺う。

答 児童は事前の交流事業を通して統合を楽しみにしているといいた言葉も出てきている。文部科学省の基準を満たす市内の学校は3校であり、その他は適正化の対象校となるが、「多様性」と「汎用性」を鑑み、市独自の基準に沿って検討をしていく。

問 戦略ビジョンについて伺う。

答 新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい中ではあったが、本市の課題を抽出することができた。多言語化の整備や観光プログラムを作り、市の自治体とも連携していく。今後は、自然と城下町を活かした観光振興の推進をしていく。

問 関連質問「学校給食費の無償化について給食費無償化と波及効果を伺う。」

答 財源の確保を行い、今後も学校給食費の無償化を継続していく。

1名あたり年間5万円の負担軽減となる。

議会を傍聴 しませんか?

次回の定例会は、
6月8日(木)午前10時
開会予定です。

各委員会も傍聴することができます。

●総務産業建設常任委員会
6月21日(水)午前10時

●社会厚生常任委員会
6月21日(水)午後1時30分



過去の議会だよりや会議録はホームページでご覧いただけます。



市議会ホームページ



会議録検索システム

市立病院を問う



小俣 武 議員

問 新型コロナウイルス感染症がら類になることで、病院体制はどのよう
に変わるのか。

答 国の通知等を確認し、適切な対応
を行うが、ウイルス自体が変わる
わけではないため、慎重な対応が引き
続き必要である。

問 働き方改革への市民の理解度はど
の程度浸透していると思うか。

答 土曜日休診は、広報やホームページ、
都留CATVのほか、院内で
も掲示板や外来の医師などがお知らせ
し、理解度は進んでいるものと認識し
ているが、救急診療などを含めた診療

体制の周知を図り、スムーズに移行で
きるよう準備を進める。

地域医療と保健師の役割 と位置づけについて

問 今後の地域医療における保健師
の役割と位置づけに対する考え
は。

答 地域の中で市民が健やかに過ご
し、一人ひとりがやりがいと生
きがいを持ち、はつらつと暮らせるま
ちを目指すには、保健師をはじめ、医
療・介護・福祉等の専門職員と医療機

関が、相互に連携を図りながら地域医
療に貢献していく必要があると考えて
いる。

問 市立病院と市保健師のより一層の
連携強化と協力により早期発見、
早期治療の構築が必要だと思いが。

答 医療機関、特に市立病院とは相互
に連携の重要性を認識しており、
市立病院からも情報を受けるなど双方
で協力関係を強化しながら、地域にお
ける保健、医療、福祉の包括ケアシ
ステムを深化させ、早期発見・早期治療
につなげられるよう努める。

総務産業建設

常任委員会

3月15日
午前10時から

委員長：小林 健太 副委員長：小俣 哲夫
委員：小俣 武、国田 正己、鈴木 孝昌、藤江 喜美子、山本 美正、天野 利夫

付託された議案6件(条例改正2件、補正予算1件、その他3件)について、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

■審査した議案(付託議案)

- ・議第5号 都留市企業立地支援条例中改正の件
- ・議第6号 都留市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例中改正の件
- ・議第8号 公立大学法人都留文科大学が徴収する料金の上限の定めの変更の認可に関する件
- ・議第9号 都留市都市計画マスタープラン改定の件
- ・議第11号 市道の路線の変更の件
- ・議第26号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第9号)



委員会の様子

※議第26号は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

社会厚生

常任委員会

3月15日
午後1時30分から

委員長：小澤 眞 副委員長：日向 美徳
委員：小俣 義之、谷垣 喜一、藤本 明久、奥秋 保、志村 武彦、山口 一裕

付託された議案8件(条例制定1件、条例改正3件、条例廃止1件、補正予算1件、事業会計補正予算1件、その他1件)について、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

■審査した議案(付託議案)

- ・議第1号 都留市子ども未来創造基金条例制定の件
- ・議第2号 都留市国民健康保険条例中改正の件
- ・議第3号 都留市地域コミュニティセンター条例中改正の件
- ・議第4号 都留市税条例等中改正の件
- ・議第7号 都留市社会福祉基金条例廃止の件
- ・議第10号 訴えの提起の件
- ・議第26号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第9号)
- ・議第27号 令和4年度都留市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)



委員会の様子

※議第26号は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

予 算

特別委員会

3月16・17・20日
午前10時から

委員長：志村 武彦 副委員長：山口 一裕
委員：小俣 武、小俣 義之、国田 正己、鈴木 孝昌、藤江 喜美子、小澤 眞、山本 美正
奥秋 保、日向 美徳、小林 健太、小俣 哲夫

付託された予算審査14件について、慎重に審査した結果、全てを原案どおり可決しました。

■審査した議案(付託議案)

- ・議第12号 令和5年度 都留市各会計予算
～議第21号
- ・議第22号 令和5年度 都留市水道事業会計予算
- ・議第23号 令和5年度 都留市簡易水道事業会計予算
- ・議第24号 令和5年度 都留市下水道事業会計予算
- ・議第25号 令和5年度 都留市病院事業会計予算



委員会の様子

令和5年度 当初予算の概要

「第6次都留市長期総合計画」の基本構想に掲げた将来像、「ひと集い 学びあふれる 生涯きらめきのまち つる」の実現に向け、「まちづくりの6つの方向」に示される具体的施策と「リーディング・プロジェクト」に基づいた事業を重点的に盛り込みながら、基金繰入金等を有効に活用し、市制開始以来、最大の予算額ではあるものの、財政の健全性・持続可能性を確保した予算編成となっています。

- I 創ります！しごととくらしの充実したまち（産業・基盤分野）
- II 育みます！優しさと元気のまち（福祉・子育て・健康分野）
- III 輝かせます！学びあふれる つるのまち（教育分野）
- IV 繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち（生活・環境分野）
- V 紡ぎます！人と人のつながりのまち（安全・安心、コミュニティ分野）
- VI 実行します！新しいステージへ（行財政分野）

●リーディング・プロジェクト●

産業支援による地域活性化

「教育首都つる」の実現

子育ての喜びが実感できるまちづくり

安心して暮らせる安全のまちづくり

令和5年度 当初予算

一般会計	161億1,600万円（前年度比5.4%増）
9特別会計	70億1,642万7千円（前年度比3.2%増）
4企業会計	70億7,891万6千円（前年度比3.8%増）

総予算額 302億1,134万3千円（前年度比4.5%増）

主な質疑内容

■第12号 令和5年度一般会計 歳入歳出予算の件

〔生涯活躍のまちつる事業〕

問 複合型居住プロジェクトの現在の状況と今後の整備計画は。

答 サ高住をオープンしたいと申出のある事業者があり、現在、建物を持つ事業者と運営をする事業者の間で価格のなものを含めて話し合いを進めていると聞いている。進捗状況は把握できていないが、話し合いが順調に進んでいたできれば良いということは、常に考えている。

令和6年度には大学関連施設も大体目途がつくと聞いており、隣接する公園も概ねその頃ということを鑑みる中、市の希望を伝え、なるべく早めに決定をしたい。

〔債権回収特別対策〕

問 現在の滞納債権総額と「債権回収特別対策チーム」による回収実績について。

答 令和3年度決算での滞納債権総額は、市税5税目で1億円程度となる。

〔協働のまちづくり事業〕

問 今後の活動支援の方法、各地域の規模や事業内容による補助額の考え方と関連部署との連携について。

答 実施したくても出来ないという状況が続いていることから、補助金を活用し、事業を行うために必ず必要になる物をこの機会に揃え、活動を止めないようお願いをしている。

補助額については、全地区からなる地域協働のまちづくり推進会連絡会で話をしていきたい。

〔企業誘致推進事業〕

問 雇用形態を踏まえた市の方向性と規制緩和に向けた県への働きかけについて。

答 製造系の重点促進区域に入れていただく予定であり、県の担当課と随時連絡を取り合いながら、働きかけと調整を行っている。

〔消防指令センター共同運営事業〕

問 山梨県東部消防指令センターの現在の状況と、他地域の動向を踏まえた今後の方向性について。

答 現時点で、国中地区の消防本部が令和4年に検討会を発足しており、近い将来での県内一本化は困難と考えている。

今後は、3市で継続をしていくのか、富士五湖消防本部を交え郡内での共同指令センターとするのか、検討していきたい。

〔体育スポーツ奨励事業〕

問 「つる湧水の里ランフェス」の開催状況と、今後のビジョンについて。

答 当日参加569件のうち県内が214件であった。実行委員会では、ハーフマラソンも見据えた規模拡大の方向性は示しているが、コース設定に大きな課題もあり、令和5年度は、前年度をベースとした大会を進め、並行して、令和6年度以降にできればハーフマラソンコースが設定できればと考えている。

3月定例会議決結果

区分	議案等名	議員名	議決結果	山口	小俣	志村	小林	日向	天野	奥秋	山本	小澤	藤江	藤本	鈴木	谷垣	国田	小俣	小俣	
				一裕	哲夫	武彦	健太	美徳	利夫	保	美正	眞	喜美子	明久	孝昌	喜一	正己	義之	武	
市長提出	承第1号 専決処分の承認を求める件(令和4年度都留市水道事業会計補正予算(第4号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第1号 都留市子ども未来創造基金条例制定の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第2号 都留市国民健康保険条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第3号 都留市地域コミュニティセンター条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第4号 都留市税条例等中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第5号 都留市企業立地支援条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第6号 都留市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第7号 都留市社会福祉基金条例廃止の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第8号 公立大学法人都留文科大学が徴収する料金の上限の定めの変更の認可に関する件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第9号 都留市都市計画マスタープラン改定の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第10号 訴えの提起の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第11号 市道の路線の変更の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第12号 令和5年度都留市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第13号 令和5年度都留市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第14号 令和5年度都留市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第15号 令和5年度都留市介護保険サービス事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第16号 令和5年度都留市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第17号 令和5年度都留市桑代沢外17恩賜林保護財産区管理会特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第18号 令和5年度都留市水頭外3恩賜林保護財産区管理会特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第19号 令和5年度都留市濁り沢外18恩賜林保護財産区管理会特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第20号 令和5年度都留市板ヶ沢外7恩賜林保護財産区管理会特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第21号 令和5年度都留市盛里財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○は賛成 ×は反対 ※議長は採決に加わりません。

区分	議案等名	議員名	議決結果	山口	小俣	志村	小林	日向	天野	奥秋	山本	小澤	藤江喜美子	藤本	鈴木	谷垣	国田	小俣	小俣	
				一裕	哲夫	武彦	健太	美徳	利夫	保	美正	眞	明久	孝昌	喜一	正己	義之	武		
市長提出	議第22号 令和5年度都留市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第23号 令和5年度都留市簡易水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第24号 令和5年度都留市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第25号 令和5年度都留市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第26号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第27号 令和4年度都留市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第28号 都留市介護保険条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第29号 監査委員の選任について同意を求めめる件	同意	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第30号 濁り沢外18恩賜林保護財産区管理委員会委員の選任について同意を求めめる件	同意	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第31号 板ヶ沢外7恩賜林保護財産区管理委員会委員の選任について同意を求めめる件	同意	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第32号 水頭外3恩賜林保護財産区管理委員会委員の選任について同意を求めめる件	同意	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第33号 盛里財産区管理委員会委員の選任について同意を求めめる件	同意	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第34号 令和5年度都留市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	諮問第1号 人権擁護委員の推薦について意見を求めめる件	同意	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出 議案第1号	都留市議会の個人情報の保護に関する条例制定の件	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○は賛成 ×は反対 ※議長は採決に加わりません。

各会議等における議員の欠席日数状況報告

(R4.4月～R5.3月)

	山口	小俣	志村	小林	日向	天野	奥秋	山本	小澤	藤江喜美子	藤本	鈴木	谷垣	国田	小俣	小俣
	一裕	哲夫	武彦	健太	美徳	利夫	保	美正	眞	明久	孝昌	喜一	正己	義之	武	
本会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—	—	3	—
常任委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	1
特別委員会	—	—	—	1	1	—	—	1	1	—	—	1	—	—	3	—
全員協議会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—	—	2	—
議員研修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—

○山梨県後期高齢者医療広域連合

■令和4年 第1回臨時会

第三者行為による医療費の損害賠償請求に係る訴えの提起と、その訴訟費用に係る令和4年度一般会計補正予算が可決された。

■令和4年 第2回定例会

令和3年度一般会計及び特別会計決算認定並びに、令和4年度一般会計及び特別会計補正予算が可決された。その他、議会運営委員会からの発議2件が可決された。

■令和5年 第1回定例会

広域連合議会の個人情報の保護に関する条例の制定、保険料の均等割軽減の対象者拡充に伴う後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例ほか2件、令和4年度一般会計及び特別会計補正予算、令和5年度一般会計予算及び特別会計予算が可決された。

令和4年10月には窓口負担2割が施行されたが、国では全世代型の社会保障制度の構築に向け、高齢者負担率の見直しや、出産育児一時金の一部を後期高齢者が負担する仕組みの導入が審議されており、今後もこうした国の動向を注視していく。



○富士・東部広域環境事務組合議会

■令和4年 第1回定例会

組合議会委員会条例他3議案、組合の休日定める条例他24専決処分、令和4年度一般会計予算他12議案などが可決された。

■令和4年 第2回定例会

令和3年度一般会計歳入歳出決算認定などが行われた。

■令和5年 第1回定例会

組合議会の個人情報の保護に関する条例制定、令和5年度一般会計予算他2議案が可決され、循環型社会形成推進地域計画などが報告された。

循環型社会形成推進地域計画とは？

一般廃棄物処理に関する総合的な施策をまとめたものです。今回報告された計画は、令和5年度から令和9年度までを計画期間として、組合の構成市町村のごみ処理に向けた計画やごみ減量化施策をとりまとめた内容となっており、廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）を総合的に推進するため、広域のかつ総合的な廃棄物処理・リサイクル施設整備を計画しています。

この計画が国の承認を受けることによって、今後、組合が予定する施設整備に係る調査・設計などに対して国の交付金を活用できますが、交付要件として、ごみ処理有料化の検討や令和10年度末までに12%のごみ減量(令和3年度比)の厳格化に加え、新たにプラスチック製品の分別収集と再商品化が追加されました。

○大月都留広域事務組合

■ごみ処理施設

大月市初狩町住民の皆様のご理解、ご協力の下、令和11年11月末まで施設の使用期限が延長されているが、その後は、富士・東部広域環境事務組合において新ごみ処理施設の整備計画を進めている。

組合では、新施設供用開始までの間、受入れ時間の拡大による利便性の向上や大幅な経費削減を実施する。

■し尿処理施設

設置から50年以上が経過し、その間、田野倉地区の皆様のご理解・ご協力の下、安定的な処理に取り組んできた。

令和2年度からは、新たな施設の建設に向け検討・協議を重ね、3市で共同処理することが締結された。

以降、下水道投入処理を前提に検討しているが、課題も多く、し尿と生ごみを併せて処理する施設が国の施策と合致しており有効であると考えている。



議 会 日 誌

1月

- 4日(水) 仕事始め式
議会だより編集委員会
新年互礼会
- 8日(日) 都留市二十歳の成人式
- 9日(月) 都留市消防団出初式
- 18日(水) 議会だより編集委員会
民生委員推薦会(書面会議)
- 21日(土) 都留機械金属工業協同組合創立50周年
式典・祝賀式
- 24日(火) 都留市経営者連絡協議会新春賀詞交歓会
- 26日(木) タブレット端末操作研修会



2月

- 6日(月) 山梨県市議会議長会議長・局長事務局長
会議
山梨県市議会議長会議員合同研修会(後期)
第38回山梨県市町村自治講演会
- 9日(木) 全国市議会議長会第230回・第114回評
議委員会合同会議
- 16日(木) 大月都留広域事務組合3月定例会
- 20日(月) 山梨県後期高齢者医療広域連合議会定
例会
- 21日(火) 水道運営委員会、下水道運営委員会



- 22日(水) 全員協議会、議会改革特別委員会、第41
回都留市社会福祉大会表彰式
- 24日(金) 第8回都留市セーフコミュニティ推進協議会
- 28日(火) 議会運営委員会、全員協議会、リニア観光
振興特別委員会

3月

- 1日(水) 富士・東部広域環境事務組合定例会
- 2日(木) 3月定例会開会
- 9日(木) 第39回ふるさと祭りおさらい会
- 13日(月) 代表質問
- 14日(火) 一般質問
- 15日(水) 総務産業建設常任委員会
社会厚生常任委員会
- 16日(木) 予算特別委員会
- 17日(金) 予算特別委員会
- 18日(土) 第52回はつらつ鶴寿大学卒業式・修了式
- 20日(月) 予算特別委員会
- 21日(火) 都留市立旭小学校 閉校記念式典、都留文
科大学卒業式・学位授与式
- 22日(水) 下水道運営委員会
- 23日(木) 議会運営委員会、全員協議会、3月定例会閉
会、議会改革特別委員会
- 28日(火) 都留文科大学新棟落成記念式典





未来を紡ぐ 若者×議会

～若者と議会で織りなすこれからの都留市～



健康科学大学
看護学部看護学科
4年
宗形 七海さん

これからの都留市に望むこと

小学校の合併、高校の減少により母校が失われつつある昨今。都留市が活気づくには、子供の声を増やすことが必要です。都留市は自然豊かで、子育てをするには魅力的な環境です。そんな都留市をさらに魅力的にしていくためには、子育て支援の拡充、若者の定住を見据えた居場所創りが必要であり一人一人の幸福感を高めることのできる政策が望まれます。そのためには、これからの将来を担う私たちの政治への積極的な参加は必須であると感じています。



健康科学大学
看護学部看護学科
3年
渡邊 想楽さん

これからの都留市に望むこと

私は都留市で生まれ育ち、豊かな自然や富士の湧水、伝統的な文化、都心へのアクセス、地域の繋がり等、都留市の魅力を沢山感じてきました。近年は高齢化率の上昇が懸念される中、都留市は大学が複数存在することから若者が集まる市でもありますが、一方で現役世代の市内への定着が少ないことが現状です。学生をはじめとする若者と都留市民の方々との繋がりを感じられる事業が行われ全ての世代が住みやすい活気あふれる町となることを期待しています。

●表紙の説明

大学と社会をつなぐ新たな拠点となる新棟「THMC」が完成しました。THMCでは、VRなどの最新のデジタル機器を備えたデジタルcommons、模擬授業ができる教室、地域交流・研究・教育の場として利用可能なラーニングcommons、誰もが気軽に立ち寄れるカフェcommons等が整備されました。

入口は2階にあり、地域住民も自由に出入りができることから、新たな教育研究拠点として、また、学生と地域をつなぐ交流の場としても大いに期待されます。



議会だより編集委員会

新型コロナウイルス感染症の影響でマスクがなかなか外せませんでした。3月13日からマスクの着用は個人の判断に任せることになりました。やはり顔の表情が分かるほうが良いですね。

3月定例会では予算案審議があり、予算特別委員会が設置され、課ごとに説明を受けた予算案を可決しました。

さて、議会だより編集委員会は、議長・副議長・議会運営委員長・総務産業建設常任委員長・社会厚生常任委員長の5名で構成されています。今年には市議会議員選挙の年となりますので、このメンバーでの最後の議会だよりとなりますが、市民の方からいただく「議会だより楽しみにしてるよ。」と言う声を励みに取り組んでまいりました。

次回からは編集委員も新メンバーとなりますが、より良い議会だよりとなりますよう、市民の皆様からのご意見などをお待ちしております。

編集委員 藤江 喜美子

議会だより編集委員会

委員長 天野 利夫

副委員長 谷垣 喜一

委員 藤江喜美子

委員 小澤 眞

委員 小林 健太



次期定例会及び請願提出について

6月定例会日程 (予定)

- 開 会 6月 8日(木)
- 代表質問 6月19日(月)
- 一般質問 6月20日(火)
- 閉 会 6月23日(金)

請願提出締切日 (予定) ●6月2日(金)

※定例会日程は、決定次第、市ホームページにてお知らせいたします。

